



ニュースリリース

(公財)さっぽろ青少年女性活動協会
こども育成課
～街とともに 未来を育む 人づくり～

『人形劇ゼミナール』での学びを子どもたちに実践！



第51回札幌人形劇祭こども部門優秀賞受賞

札幌市児童会館・ミニ児童会館を管理運営している(公財)さっぽろ青少年女性活動協会こども育成課では、各部門と連携し児童会館での子どもの体験活動を広げるために各種研修を行っています。今回は、No.05でお伝えしましたこども劇場課・育成課合同研修『人形劇ゼミナール』での学びを会館で子どもたちに実践し、札幌人形劇祭にて優秀賞受賞に至った新琴似南小ミニ児童会館永井 純児童指導員の体験談を紹介いたします。



パワフル劇団のメンバー。小道具、大道具、人形も全部一から子どもたちとともに作り上げました。



ゼミナールで誕生し、永井児童指導員の所属する人形劇団ファイブミニの公演の様子。

『今年度、新琴似南小ミニ児童会館で人形劇クラブ「パワフル劇団」の担当となり、自分も0から学んでみようとして人形劇ゼミナールに参加しました。ゼミナールでは、児童会館職員5名で人形劇団「ファイブミニ」を結成し実践から技術習得を目指しました。作品完成後、復興支援事業(福島)等での公演を重ね、劇団で団結し作品を作り上げ演じる楽しさを私自身体感しました。

担当する「パワフル劇団」(小学2～6年生の8名)では、人形劇祭参加を目指し、自分の学びを子どもたちに即実践する形で約半年間取り組みました。子どもたちの集中が続かない場面もありましたが、ゼミナールで体得したグループワーカーとしての関りを生かして、一人一人の良さを引き出す制作・練習を心がけました。人形劇祭当日は、緊張があるものの子どもの個性が感じられる元気な演技ができ、それが功を成したのか、優秀賞を頂くことができました。人形劇祭参加後は、子どもたちの活動姿勢が明らかに変わり自発的な行動やお互いに助言しあう姿が見られ、子どもの成長に寄り添う児童会館職員としてのやりがいも感じています。

今は「札幌市児童会館人形劇フェスティバル」(3/21)へ向けて、人形劇祭での助言を基に演出を追加し練習を行っています。これからも楽しみながら子どもたちと一緒に活動したいと考えています。』

(公財)さっぽろ青少年女性活動協会こども育成課では、特色ある体験活動の機会をつくるため、職員のスキルアップを大切にしています。初開催となる「札幌児童会館人形劇フェスティバル」では、世界人形劇の日に合わせ、市内児童会館の人形劇クラブが一堂に会し上演を行います。詳細決定次第、HP 等でお知らせいたします。



<(公財)さっぽろ青少年女性活動協会>

札幌市児童会館、ミニ児童会館をはじめ、こどもの劇場やまびこ座・こども人形劇場こぐま座、若者活動センター・若者支援総合センター、青少年山の家、定山溪自然の村、北方自然教育園、千歳市児童館・学童クラブの管理運営をとおして、「人とのつながりによる魅力あふれる未来社会の創造」を実現していきます。

<本件に関するお問い合わせ先>

こども育成課 担当 細川 ikuseika-release@syaa.jp TEL011-671-4121
(公財)さっぽろ青少年女性活動協会 〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
<HP アドレス> <http://g-kan.syaa.jp>

